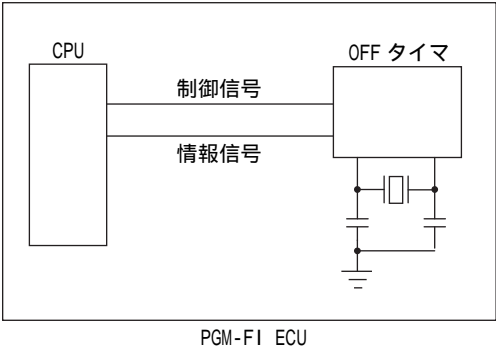


DTC 解説

DTC P2610: ECU OFF タイマ故障

検知原理解説



01_P2610G_TM8A00

PGM-FI ECU には OFF タイマを搭載しており、エンジン停止後（イグニッション スイッチ OFF 後）から次回イグニッション スイッチ ON(II) までの時間を計測している。計測された時間は、燃料系のリーク検知や触媒コンバータ温度の推定などに用いられる。
CPU は OFF タイマの計測時間を読み出すために OFF タイマへアクセスするが、アクセス処理が正常に行われなかった場合、または読み出したデータに異常があった場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	10 秒間以上
検知手法種別	1D/C(単一検知手法)、PGM-FI 警告灯：点灯
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
イグニッション スイッチ	ON(II)*

*: バッテリ端子取付け直後のイグニッション スイッチ ON(II) は除く。

故障判定基準

OFF タイマへのアクセス処理が正常に行われない場合、または読み出したデータに異常がある状態で 10 秒間以上継続した場合。

推定故障部位

PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI 警告灯が点灯し、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

車両が連続した 3D/C の走行で故障診断を行い正常と判定した場合、PGM-FI 警告灯は消灯する。また、スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリ端子の取外しにより PGM-FI 警告灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。